

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議/ビデオ会議・Web会議・電話会議システム専門 定期レポート

2007年10月インタビューレポート

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2007 CNA Report Japan. All rights reserved.

インタビュー

Emblaze-VCON 社 (エンブレイズ・ブイコン)



Emblaze-VCON 社

CEO Tal Barnoach 氏

聞き手：CNA レポート・ジャパン

代表 橋本啓介

テレビ会議に詳しい読者であれば VCON は長年テレビ会議システムの主要プレーヤーとしてその名を知られていることをご存じだと思ふ。日本においては過去に日本オフィスを設置しシステムインテグレーションなどで実績がある。この定期レポートでも度々製品発表や業績発表などをレポートしてきた。

ZONE-IP は、2005 年秋にイスラエルのテレビ会議メーカー VCON 社の買収を発表。その後 VCON 社は、

Emblaze-VCON 社として名称を変更、ZONE-IP 社の傘下に入り現在に至る。現在、新しいマネージメントを迎え、製品ラインナップの拡充とともに、現在ワールドワイドの事業展開を強化しつつある。

ZONE-IP は、旧 Ki-Bi Mobile Technologies 社。モバイルコンテンツやサービス向けのプラットフォーム開発に関連した事業展開を行うイスラエル企業。Emblaze グループの一社。

橋本：ZONE-IP が VCON を買収したきっかけは何でしょうか。

Barnoach 氏：VCON は、関連の特許やすばらしいプロダクトラインを持っていることから映像コミュニケーションに関する新しい事業機会を与えてくれると我々は判断し買収することにしました。それで今は Emblaze-VCON という名称になり、ZONE-IP グループの傘下企業となりました。

Emblaze-VCON は、映像コミュニケーション分野においてパイオニアであり、関連の多数の特許と高い技術力に裏打ちされた製品群を持っています。それは当社の今後の事業の良い可能性を示すと思っています。

そのため、我々は、VCON 社を買収することでその既存の製品ラインナップをより強化し、成長著しい市場での VCON の競争力を強化しリーダーとしての地位を確保していきたいと考えています。

当社には非常に優秀な人材が豊富におり、今後も彼らが核になってこの Emblaze-VCON を、IP ユニファイド・コミュニケーションのリーダーとして成長させてくれると期待しています。

そういった期待がふくらむ中で、Zone-IP は、

Emblaze-VCONの事業が成功裏に遂行されるために、資金面だけでなく、経営面でも支援していく考えです。

橋本：今の会議システム市場をどのようにご覧になっていますか。

Barnoach 氏：テレビ会議市場は、昨今話題になっているテレプレゼンスがテレビ会議全体の需要の火付け役になるとは見ていません。

それよりも、本当の火付け役は、システムの信頼性が高く、価格性能が良く、簡単に操作ができる、テレビ会議端末やネットワークインフラ装置、運用管理システムをトータル的にソリューションとして提供できるというところにあるのではないかと考えています。

ここは、我々がまさしくターゲットとしているところであり、尚かつ我々が得意としているところでもあります。我々の競争相手よりも、高品質ながらも、ユーザにとってコスト負担が少ない製品を出していると自負しています。

橋本：Emblaze-VCONとしてはどのような製品あるいはサービスを提供していますか。

Barnoach 氏：当社は、PC向けのデスクトップやテレビ会議専用端末、多地点接続装置(テレビ会議、音声会議)、NAT/ファイアウォールトラバーサル、会議スケジューリング、運用管理システムまで、端末系からネットワーク装置まで多岐に渡る製品ラインナップを提供しています。また、開発者向けの SDK も提供し、システムインテグレータのアプリケーション開発に役に立っています。

ここでご紹介しておきたい製品は、当社の VCB(多地点接続装置)という製品です。VCBは著名な検証機関などで厳しいテストを受け、映像音声の品質に影響を与える遅延をもっとも抑えたシステムと評価されています。

そして、もうひとつご紹介したいのは、テレビ会議向けリソースマネージメントサーバーです。これは 20 以上の豊富な

機能を提供しており、他社以上の性能と機能であると確信しています。



VCB Pro (多地点接続装置)

橋本：豊富な製品ラインナップを提供されているわけですが、御社の市場での強みについて教えてください。

Barnoach 氏：他社も同様な製品ラインナップを提供しているところもありますが、当社の強みは、それぞれの製品において最高の品質と豊富で便利な機能を低コストでユーザの予算の都合に合わせて提供できるというところにあります。

さらに、それらに加えて、顧客のニーズや個別の要望に迅速に対応することができるということが、数多くのお客様が当社を選択して頂く理由になっています。

また、特許を取得した「interactive multicast(インタラクティブ・マルチキャスト)」は当社が自信を持って提供している機能のひとつです。個別のアプリケーションに最適化した機能を提供できる力といったことも当社の強みと自負しております。

橋本：導入ユーザをいくつかご紹介していただけませんか。

Barnoach 氏：つい最近の話ですが、あるドイツの有名自動車メーカーがウェインハウス社主催のカンファレンスにおいて、当社のテレビ会議ソリューションを導入したと発

表しました。この事例の特徴のひとつはテレビ会議システムが LDAP サーバと連携しているということが挙げられます。

その他では、英国放送協会 (BBC) では、当社のテレビ会議端末とマネージメントサーバーを使用しています。世界中に展開している BBC の記者の方々が利用されているのです。

政府系では、イスラエルの教育省やロシアの法務省などがあり、そういったところではテレビ会議システムのオペレーションが非常に複雑で高度な技術を要求されるのですが、当社で端末からネットワークサーバーまでトータルにインテグレーションを行い納品いたしました。

また、vPoint というデスクトップソフトウェアパッケージ製品を提供していますが、この製品は、映像と音声の品質や機能の豊富さから、金融、テレビ放送、通信衛星、インターネットサービスプロバイダーなど、多方面の企業に採用されています。

橋本：日本での展開はどうか。

Barnoach 氏：以前には日本にはディストリビューターやリセラー、OEM 関係もあったのですが、当社としては、今後、日本あるいはアジア太平洋地域で積極的に当社のテレビ会議システムを取り扱っていただけるパートナーを開拓し、当社のテレビ会議システムを日本のユーザの皆様にご利用いただければと考えています。

橋本：最後に今後のロードマップについて何かお話頂けることはありますか。

Barnoach 氏：当社は顧客からのフィードバックを重視しており、ロードマップはそのフィードバックを元に検討されています。当社の開発チームは、セールスエンジニアと共に顧客へ訪問し顧客のニーズや要望のヒアリングを行いその重要性などを検討した上で今後の開発に役立てることを日々考えています。また、それに合わせて開発部門へは相当な

額の資金を投入し製品開発を行っていきます。

橋本：ありがとうございました。

【Emblaze-VCON 連絡先】

Ms. Linor Shachar, VP Sales and Marketing

Email: linors@emblaze-vcon.com

Fax: +972-9-762-7801

Tel: +972-9-762-7800

Emblaze-VCON International Headquarters:

Beit Rakefet

1 Emblaze Square

POB 2220

Ra'anana 43662

Israel

ホームページ: <http://www.vcon.com>



オルメルト イスラエル首相 (中央)、Barnoach 氏 (右) (2007年6月撮影)